

教科	数学	科目	数学A	1学年	2単位
使用教科書	改訂版 高等学校数学A		使用教材	数研出版 4プロセスI+A、study-upノート数学A	
授業担当者					

目標	集合、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ることにより、数学的な見方や考え方を的確に活用する能力を伸ばす。整数の性質について理解を深め、事象の考察ができるようにする。
----	--

学期	単元・指導内容(章・節・項)	予定時数	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学期	準備 集合 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	28	要素、部分集合、共通部分などの用語を理解し、問題に応じて使いこなすことができる。 和の法則や積の法則について理解することができる。 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めることができる。 基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めることができる。	定期考査・課題の提出等を考慮して評価する。
2 学期	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	28	独立試行や条件付き確率の意味を理解し、それらの確率を求めることができる。またそれを事象の考察に活用することができる。 三角形・円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明することができる。 空間における直線や平面の位置関係やなす角について理解を深めることができる。	定期考査・課題の提出等を考慮して評価する。
3 学期	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用	14	整数の性質について理解することができる。 素因数分解を用いて最小公倍数と最大公約数を求めることができる。 二元一次不定方程式の解の意味について理解し、簡単な場合についてその整数解を求めることができる。 N進法で用いた数の計算ができる。	定期考査・課題の提出等を考慮して評価する。